

MS)に携わる品質保証を担当。Karaさんは担当楽器について、「ベースは薬剤師の歴史と類似性があると思っている。音楽の中で極めて重要なパートだが、薬剤師と同じく重要性があまり理解されていない」と薬剤師の立場と重ねる。

Karaさんのポリシーは、「ベースの地位向上」であり、低音でリズムを刻むだけといった既存の概念を打ち破ることだ。「ベース本来の縁の下の力持

ちとしての役割と、固定概念を覆したパフォーマンスは両立できる。貰ったコードは全てスケールを解析し、他のパートの全部覚えた上で、ベースの音を置いていく」とプライドの高さを覗かせた。



ライブでは、情熱を込めたパフォーマンスで観客を沸かせる



仕事も音楽も真剣

「欲張っていいと思う」

メンバー全員が集まると熱い議論に発展する。演奏だけでなく、表現方法、ライブでの人の動き、照明と細部にわたって職種や音楽性の違う4人。こだわりも強く、それぞれが意見を主張する。「メンバーの誰1人抜けてもやっていけない」。薬学という共通のフィールドを持つ仲間だからこそ、結束は固い。色々なキャラクターや個性をまとめるのは簡単なことではないが、バンドとしてチームワークを構築できれば仕事にも活用できる。逆に仕事で得たことがバンドに活用される相互作用が生まれ、医師や患者と向き合うときに良いパフォーマンスを生むこともあるという。ドラムのDanさんは

「薬学生にはもっと自由な道もあると伝えたい。自分は医薬品開発のプロにもなりたいし、音楽も真剣な気持ちでやりたい。欲張っていいと思っている」と話す。仕事と音楽の両立は難しくても、4人で大きな夢を追いかける。「薬剤師や製薬企業の社員として仕事をしていても、大きな舞台に出られるということ証明できるようなバンドになりたい」。4人が残す“Foot mark”から、薬学生の新たな“Foot mark”が生まれるだろうか。

「無理をしない」ことから始める



メディセレスクール 松阪 勇輝

はじめまして、今回このコラムを担当するメディセレスクール専任講師の松阪勇輝です。まだまだ暑い日々が続きますが、夏バテ、勉強バテをしませんか？私は大変暑がりなので自宅で冷房をガンガンきかせていたのですが、電気代が見たこともない数字になっていたため、「No冷房day」を導入し始めました。

さて、表題の「無理をしない」について、誤解しないで欲しいことがあります。決して「がんばらなくていい」ということではありません。「止める口実を作らないために無理をしない」という意味です。

国試予備校の現場から

人のモチベーションは日によって変化しますが、やる気満々の時こそ自分をコントロールしなければならないのです。三日坊主という言葉をよく聞きますか？誰もやり始めはやる気に満ち溢れているものです。

先ほどの「No冷房day」は2日であえなく終了しました。理由は簡単、調子に乗ってやり過ぎてしまったのです。逆にその経験がトラウマとなり1日中冷房をかけるようになってしまいました。「止めるための口実」を作ってしまったわけです。

勉強も同じ、やる気があっても「無理をしない」が継続のコツです。試験前だけ徹夜勉強した結果、勉強が嫌いになった経験はありませんか？それでもクリアできれば良いのですが、数日

間の徹夜だけで国家試験に合格することは絶対にないです。

長期的に勉強し続けるためには小さいゴールを設定することと、同じところを繰り返すことが大切です。「今日はここまで」と最初に決めておき、到達したらあえて止めてみましょう。そうすると適度な達成感を味わいつつ、やる気を次回に持ち越すことができます。また「繰り返し」によって記憶の定着を図れます。忘れても、一度学んだことは少しの時間で思い出せます。

新しい分野に着手するのはどうしても時間がかかるため、疲れた時や気分が乗らない時にこそ復習に目を向けてみましょう！長続きしないと感じている人は、是非今日から実践してみてください。

首都圏を中心に店舗展開中！

東京都：20店舗 神奈川県：4店舗
埼玉・千葉・山梨・栃木県：各1店舗



miki pharmacy
ミキ薬局

インターンシップ開催中！

ミキ薬局



「食と栄養」の情報発信もおこなう調剤薬局

「薬剤師として確かなスキルアップを」

株式会社メディカルファーマシー

本社：〒162-0056 東京都新宿区若松町9-12 KSビル 2F TEL 03-5368-2011
人材開発部 saiyou@miki.ne.jp ホームページ http://miki-ph.jp